

平成24年度

# 里なび研修会

資源活用と計画策定



里地里山は国土の約4割を占めており、特有の生物の生息環境、生態系ネットワークの形成上重要であるとともに、食料や木材等の自然資源の供給、国土の保全、水源涵養、文化・景観形成の観点からも重要な役割を担っています。しかし、過疎化や社会経済状況の変化により自然への人間の働きかけが減少し、里地里山の多様な機能の劣化が懸念されています。その保全再生のためには、地域ごとの様々な経験から生まれた知恵を活かし、適正な管理を行う人づくりを進める必要があります。また、活動地域間の人と情報のネットワークにより活動を活性化し拡大していくことが重要です。

里地里山の保全活動はこれまで、市民活動が牽引約となって各地で展開され、確実に広がりを見せてきました。これからは、各地で立ち上がった活動が将来にわたり持続されていくよう、農林家、市民、都市住民、事業者、行政等の多様な主体が協働して取り組んでいくことが必要です。国の制度面では、平成22年度に「環境省里地里山保全活用行動計画」の策定、平成23年度に「生物多様性地域連携促進法」の施行と活動促進に関する基本方針の策定など、地域の活動を促進するための基盤が構築されました。

そこで平成24年度の研修会では、里地里山の資源を有効に活用し地域の生業を活性化させることで、保全活動を持続的かつ安定的に取り組めるようにしていくという観点から、多様な主体の参加と連携や、地域連携促進法を活用した活動計画づくりに関する研修会を行います。

平成24年度 全国5カ所で開催します。  
(福島県、新潟県、山梨県、山口県、岐阜県)

主催 環境省自然環境局

事務局 (株)森里川海生業研究所 里地ネットワーク

### 参加方法

参加費無料、先着申込制です。

メール、FAXにて、

- ・参加日、開催地
  - ・氏名(全員分)
  - ・ご所属(企業、団体名等)
  - ・連絡先(代表者のメールかFAX)
- をお知らせ下さい。

### お申込み・お問合せ

里なび事務局(里地ネットワーク)

メール: h24@satonavi.go.jp

TEL: 03-5477-2678

FAX: 03-5477-2609

場所	日程	内容
福島県 鮫川村	7月21日 (土)  ワークショップ 7月22日 (日)	<b>【野生生物から見つめ直す 自然と共生した里づくり】</b> 阿武隈高原の頂上部に位置する福島県鮫川村は、都市部の大学と連携して、里地里山の保全や大豆特産品の開発(特産品センター「手まめ館」)、バイオマスエネルギー(薪ボイラー)の活用等の村づくりに取り組む先進地です。東日本大震災で影響を受けた里地里山の保全活動を、野鳥、虫など生物の視点から子どもたちと共に見つめ直し、改めて自然と共生した里づくりについて考えます。
新潟県 十日町市	9月8日 (土)  里山診断 9月9日 (日)	<b>【天蚕・蛾の採種と蛾の種類から見る里山の健康診断】</b> 十日町市里山センターは、中越地震をきっかけに中山間地の創造的復興に向けて誕生した地域活動センターです。ヤマモユガの飼育を通じた天蚕による地域活性化を実現するため、種(タネ)となる蛾の捕獲とチョウカゴでの孵化の方法を学ぶとともに、ライトラップで捕獲した蛾の種類による里山の健康診断の手法を学び、どのような取り組みを行えばヤマモユガを増やすことができるかを専門家とともに考えます。
山梨県 小菅村	10月27日 (土)	<b>【流域連携の構築と多様なつながりの再生】</b> 多摩川源流域の山里である小菅村では、流域の都市部の大学や企業と連携して源流域であることにこだわった村づくりを続けています。学生や企業人を受け入れて、山の手入れ、田畑での耕作、川漁など、村人が先生となって様々な自然体験プログラムを提供し、交流を通して村の活性化に繋がっています。この研修会では、小菅村での取り組みを事例に、流域の視点で多様な主体が連携し、里地里山の資源を活用しながら地域活性化に取り組む、「源流大学」の構築手法を学びます。
山口県 宇部市	11月26日 (月)	<b>【産官学民連携による生物多様性保全活動計画の策定】</b> 宇部市北部に位置する小野湖とその周辺の里地里山地域は、多様な動植物が生息する貴重な自然環境に恵まれています。宇部市では環境と共生する環境首都を目指す一環として、豊かな自然・生活環境を次世代に残すため、小野湖周辺をモデル地区とした生物多様性地域連携保全活動計画の策定に取り組んでいます。多くの人々の参加によりふるさとの自然を継承するため、計画素案を公表するとともに、今後の具体的な取り組みについて意見交換を行います。本研修では、一連の計画策定の手順を宇部市の取り組みから学びます。
岐阜県 恵那市	12月15日 (土) (調整中)	<b>【里山資源の活用と里の暮らしの再生】</b> 恵那市山岡町では、子どもたちによる「森の健康診断」を行い、身近な森の現状を自分達で調べ体感してもらう活動を行っています。この活動をきっかけに、森や里地里山の多様な機能を活かし地域の文化を継承する取り組みを行うことで、心豊かな暮らしができる地域づくりを進めようとしています。里山資源をどう活用すれば心豊かな暮らしの再生につながるのか、具体的な事例に学びながら里山資源の発掘、活用、暮らしの再生を考えます。

